

腐り切った組織の実態を継続してウォッチする 第五十三弾

神社本庁再生への道—その十六

最高裁は神社本庁の上告を棄却—
「反田中総長勢力」は全力で組織改革に取り組みべし

本紙が追求してきた神社本庁職員地位保全裁判は、去る四月二十一日、最高裁が上告を棄却する決定を下し、四年半にわたった裁判は、原告である元部長二人の全面勝訴で決着した。後は一日も早い神社本庁の正常化が待たれるが、まずは長い裁判を戦い抜いた関係者の労をねぎらいたい。

神社新報に不可解な記事

ととろで三月二十八日付の神社新報に、神社本庁の異常さが紙面から滲み出たような何とも奇妙な記事が掲載された。三月十六日に開催された神社本庁役員会の報告記事であるが、議事の中で、元理事から昨年提訴されていた役員会議事録及び決議書写しの交付請求をめぐる訴訟の経過が報告されたのだ。解りづらい記事だが、特に次の二点を不可解に思った。その全文を引用する。

藤原登(フリーライター)

「元理事からの請求が閲覧と複写から閲覧のみになったことや、神社等に対して同様の閲覧請求があった場合の precedents となることを避けるため、請求を認諾することとして訴訟が終了し、すでに三月十一日には閲覧に応じた」というのだという。さらに、「加えて、小串副総長の辞任と職員の懲戒処分を議題とした平成二十九年八月の臨時役員会における議事録・決議書が電子データの状態でのみ存在し、書類として保管されていなかったことを報告。顧問弁護士の見解も踏まえ適切に対処していく旨の説明もあった。」というのである。

元理事からの閲覧請求を神社本庁が拒否したので裁判になったのだらうが、二つ目の臨時役員会の議事録の件は、副総長と職員の懲戒処分に関する説明や

時役員会において、当時の理事に副総長の辞任と職員の懲戒処分を了承させるために、あたかも小串副総長と稲、瀬尾両部長が「反田中総長勢力」の本丸であり、彼らが共同謀議によって百合丘職舎の不正売却疑惑を捏造し、それをネタとした怪文書をバラ撒いて田中総長の追い落としを図ったかのごとく虚偽説明をした、というものだ。いざれ真相は明らかになるだろうが、「田中総長勢力」の証言をまとめて、不正を取り繕った内容の百合丘職舎売却についての調査報告書にさえ、「反田中総長勢力」も、後に裁判で神社本庁が多用した「クーデター」も出てこない。だとしたら神社本庁が調査報告書の複写を禁じただけでなく、五年も前の臨時役員会の議事録の閲覧に応じない理由も腑に落ちるのである。

その記事とは次の通りだ。役員会における議事の「その他」で、稲、瀬尾両氏の地位保全裁判で神社本庁が最高裁に提出した「上告受理申立の理由書」に記載されている、「反田中総長勢力の二名の理事」という文言に、その適否を問う質問状がある理事から寄せられていたことを受けて、当該文書を作成した担当弁護士がウェブ会議システムを介して、「田中総長を非難する側の理事のことなので、論理的に反田中総長勢力になる」との考えを述べた。これ

その仮説とは、神社本庁田中執行部は平成二十九年八月の臨時役員会で、悪質な虚偽報告か？

メフト部の危険タックル事件の時から、少数派とは言え心ある教職員が大学正常化のために立ち上がり、決して諦めなかったことで、田中理事長勢力による大学私物化の実態を明かにできたのだ。昨年の井ノ口理事の背任容疑での逮捕も、田中理事長の所得税法違反での逮捕も、東京地検特捜部だけの力にも残るが、今後の神社本庁正常化への動きは、様々な形でこの答申書を受けた日大改革と比較されることになるだろう。

元締め神社本庁田中総長も、黒幕である神道政治連盟打倒する家宅捜査を決定させる情報が集まったのではないのか。田会長も刑事被告人ではない。しかし、職員の地位保全裁判において「背任と信じるに足りる相当の理由があった」ことが事実認定され、その判決が最高裁での審理を経て確定したのだ。

神社本庁良識派の方々は、田中派から「反田中総長勢力」と呼ばれることを誇りとして、宣言した日本大学では、本年三月、外部有識者を含む委員で構成し、

成された日大再生会議が大学改革へ向けた答申書を取りまとめ、改革の柱として提言している三項目の一つには、「日本大学は、今回の重大な不祥事に鑑み、刑事被告人となった二人とその支持者の法人運営の場への復帰を、関係組織も含め、断じて認めない。」ことが謳われた。

まだ答申段階であり不安な要素も残るが、今後の神社本庁正常化への動きは、様々な形でこの答申書を受けた日大改革と比較されることになるだろう。

日本大学再生会議の答申書

田中元理事長との完全決別を宣言した日本大学では、本年三月、外部有識者を含む委員で構成し、

藤原登(ふじわら)のぼる

昭和二十八年、東京に生まれる。昭和五十二年、専門学校卒業後、広告代理店勤務の傍ら、独学で歴史、宗教、哲学を学ぶ。現在は同人誌を中心に寄稿している。